

日本農学アカデミー 2025 年度シンポジウム 講演者の講演内容案

日時：2025 年 11 月 1 日（土）13:00~17:30

場所：東京大学弥生講堂

共催：公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科

シンポジウム題目

「わが国の農業の将来を考えるー今求められているものは何か」

開催趣旨：

2025 年 4 月に食料・農業・農村基本法改正後初の「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定された。わが国の農業、農村は「国の基」とされるが、その持続性を脅かす国内外のさまざまな問題が指摘されており、基本計画ではそれらへの対処方針が示されている。本シンポジウムでは基本計画の枠組みやポイントを紹介しながら、わが国の農業が直面する現状と将来の目指すべき姿をさまざまな観点から議論する。

・基調講演：食料・農業・農村基本計画の概要

（中嶋 康博、女子栄養大学・教授）

講演内容案：食料・農業・農村政策審議会企画部会長として食料・農業・農村基本計画の答申案を取りまとめた経緯を踏まえながら、基本法改正の背景や今回の基本計画のポイントを説明した上で、農業の将来展望を紹介して頂く。

・講演題目：経営・ビジネス視点でみる農業の課題と可能性

（丸山 侑佑、八ヶ岳農業大学校・校長）

講演内容案：八ヶ岳農業大学校は 2024 年より新たな経営体制として再出発をしました。理事長及び校長には上場企業の経営者が就任し、自然環境及び農業を活かした農業事業の立ち上げ及び地域の活性化に取り組んでいます。農業分野における経営目線での課題及びその解決に向けた糸口を発表するとともに、これらの過程を踏まえ新たに「アグリツーリズム」を学びに落とし込むプロジェクトを進めていることも紹介します。

・講演題目：農企業にみる戦略的経営と共通価値の創造

（渋谷 往男、東京農業大学・教授）

講演内容案：農業は伝統的な産業であるが故に保守的あるいは閉鎖的な面が否めず、変化への対応力が弱い傾向がある。近年経営環境が急速に変化するなかで、異業種の経営ノウハウを導入している農業参入企業や海外農企業の

経営行動から、持続可能な農業のヒントを探って頂く。

・講演題目：スマート農業の役割

(野口 伸、北海道大学大学院・農学研究院長・教授)

講演内容案：改正食料・農業・農村基本法の大きな柱の一つはスマート農業の推進である。食料生産システムのロボット化や ICT に関わる研究に長らく取り組まれている立場からスマート農業の現状、将来展望を紹介して頂く。

・講演題目：肥料の安定供給リスクと食料安全保障

(小針 美和、農林中金総合研究所・主任研究員)

講演内容案：肥料をはじめとする農業資材の安定供給は食料安全保障を確保する上での重要な課題の一つである。これまでの持続的な農業発展をめぐる研究成果を踏まえながら、食料・農業・農村基本法改正および新たな基本計画における食料安全保障をめぐる論点を紹介して頂く。

・講演題目：農業・食・エネルギーをめぐる現場の新たな潮流

(金丸 弘美、食環境ジャーナリスト)

講演内容案：農山漁村の自然や食を手掛かりに都市と農村との共生を推進する取組、再生可能エネルギーを活用した新たなローカル経済の構築など、各地の具体的事例を基に、農業振興や食による地域づくりの新しい姿を紹介して頂く。

総合討論 司会者 中嶋 康博

全講演者が登壇して、会場あるいはオンライン参加の方々から頂いた質問、コメントへ回答し、農業の将来展望について議論して頂く。